

趣意書

千葉県脳損傷者運転支援連携会議について

【千葉県脳損傷者運転支援連携会議設立の経緯と趣旨】

千葉県では、公共交通機関が整っている東葛地区の一部を除き、多くの地域において、自動車運転は生活に欠かせない重要な移動手段となっています。

近年、病気を持つ運転者の引き起こす重大事故や、高齢免許保有者増加に伴う道路交通法改正など、世の中の関心が高まっている潮流の中で、我々医療者においては、診断書作成を必要とする脳損傷者の運転適性評価や運転再開支援を行う機会が増えております。その中で、我々は対象者が道路交通法の定める「一定の病気」に該当する状態かどうかの判断を求められています。しかし、本来医療提供を主たる業務とする我々が、自動車運転に対して評価や運転支援を行う事には限界があり、免許センターや運転技能のプロフェッショナルである教習所との連携が不可欠です。

千葉県千葉リハビリテーションセンターでは、長年、脳損傷者の運転再開支援に従事する中で、千葉運転免許センターから講師を招き、定期的に支援者向け勉強会を開催している他、千葉運転免許センターとの懇談会を行うなどして連携強化を図ってまいりました。この経過の中で、診断書の記載方法や診断書の書式変更等も議題として挙がることがありましたが、そのような議題は医療機関のまとまった意見として取り上げられることが望ましいことが双方から発せられました。

これに対して、まずは千葉県内で脳損傷者の運転支援を実施しているリハ関連施設が集まり、運転支援に関する課題を共有することが大切だと考えました。そして、脳損傷者への運転支援が、それぞれの機関の連携によって適切に行われること、また医療者間で共有した課題をもとに運転免許センターや県教習所協会に働きかけを行っていくことを目的として、この会を開催させて頂くに至った次第です。

上記の趣旨を御理解いただき、千葉県内で運転支援を行っている医療機関におきましては、ぜひ参加していただきたいと思っております。

千葉県脳損傷者運転支援連携会議

代表 菊地尚久

(千葉県千葉リハビリテーションセンター センター長)

【千葉県脳損傷者運転支援連携会議の組織概要】

1. 名称：千葉県脳損傷者運転支援連携会議

2. 本会議の構成

1) 代表：千葉県千葉リハビリテーションセンター センター長 菊地 尚久

2) 副代表：東京湾岸リハビリテーション病院 医師 佐久間 克也

船橋市立リハビリテーション病院 診療部 診療部長 石原 健

千葉県千葉リハビリテーションセンター 第一脳神経内科 部長 赤荻 英理

3) 世話人：東京湾岸リハビリテーション病院 言語聴覚士 土佐林 有紀

船橋市立リハビリテーション病院 作業療法士 江口 悠樹

千葉県千葉リハビリテーションセンター リハビリテーション治療部

副部長 安森 太一

4) 定期参加（年1回）：千葉県警察本部 交通部 運転免許本部

千葉県指定自動車教習所協会

5) 事務局：千葉県千葉リハビリテーションセンター

地域支援センター

就労支援部 就労支援室長 中島 光喜

総合相談部 部長 森戸 崇行